

トピックス

日本国内の工場として初めて JHEP 認証
【将来見込型】を取得

～ パナソニック㈱ ～

前回の協豊会タイムへの寄稿で当社は、社内車両紹介（CIC）活動の一環として2003年度から「共存の森基金」を設立。植樹苗木代費用の一部を支援し、当社グループ事業場構内の緑化に取り組んでいる内容を報告しました。



このたび、カーオーディオやナビゲーションなどを製造する当社の松本工場が、その活動に新たな取り組みを加え、生物多様性に関する JHEP 認証〔将来見込型〕を取得しました。JHEP 認証とは、(財)日本生態系協会が開発した、生物多様性定量評価手法にもとづく認証制度で、その中の【将来見込型】とは、将来的に生物多様性の保全への貢献が見込まれる取り組みについて認証を与えるものです。

新たな取り組み内容は

- ① 緑地管理方針の見直し
- ② 樹林内に立枯木を新たに配置
- ③ 現在の芝生の一部（約 250 m²）をススキ草地へ転換となっており、これらにより地域の在来種を中心とした緑地づくりや、小鳥たちの生息をはぐくむ「立枯木」の配備が大きく評価されました。



2018年に創業100周年を迎える当社は、全社をあげてエレクトロニクス No. 1の「環境革新企業」となることを中期ビジョンに掲げており、これからも様々な取り組みを進めて参ります。